

備 前 市 事 務 事 業 評 価 表

事務事業名	精神疾病患者通院医療費給付事業		コード	担当課係	保健課健康係
			02-02-03-01	担当者	服部
事業実施期間		昭和51年4月1日		電話	64-1820
総 合 計 画 事業（政策）体系		大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり		
		中項目	健やかで生き生きしたまちづくり		
		小項目	精神保健		
		施 策	相談窓口の充実		

事業について	
目 的	精神障害者が通院を中断することなく、適切な医療を受けられるように医療費支給をおこなう。
対 象 (誰のために)	市内に住所を有する国民健康保険法の規定による被保険者で精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第32条の規定による医療を受けている者
内 容	適正な医療費の給付

事業の結果									
実施項目		17年度							
		回 数 な ど (単位)		回 数 な ど (単位)		回 数 な ど (単位)			
精神疾病患者通院医療費支給額		1,773,401 円							
精神疾病患者通院医療費支給人数		422 人							
精神疾病患者通院医療費支給延べ人数		1,428 人							
対象者延べ人数		1,667 人							
事業 費 (単位：千円)		事業費		財源		事業費		財源	
		直接事業費	1,769	国県補助金等		直接事業費		国県補助金等	
		人件費	3,091	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債			
		合計	4,860	一般財源等	4,860	合計	0	一般財源等	0
必要人員		0.51 人							
結果指標①	結果指標名	精神疾病患者通院医療費支給人数							
	結果指標量	422							
	単位	人							
	対前年比	—		0.00%					
	事業費	4,860,000 円							
結果指標②	単位当たりコスト①	11,517 円							
	結果指標名								
	結果指標量								
	単位								
	対前年比								
		事業費							
		単位当たりコスト②							

事業の成果			
成果指標名	支給率	式又は説明	精神疾病患者通院医療費支給延べ人数／対象者延べ人数
	17年度		
成果指標量	85.7%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	90%	到達目標年度	H20年度

(平成17年度事業)

事務事業の評価			課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第32条の規定により本市が行うのは妥当である。受給者からの申請に基づき、適正な医療費の給付が行われている。合併に伴い対象者が増加している。H18年4月より通院医療費公費負担制度が自立支援医療制度に移行され自己負担金が5%から1割に改正される。新規対象者には訪問による制度案内を行い、負担軽減を図れるように申請をすすめていく。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	2～5月、6～9月、10～1月診療分を3期に分けた申請に基づき、償還給付している。受給者は今後も増加すると思われるため、効率化を図る必要がある。
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	受給者は今後も増加する見込みである。未申請を減少させるため、保健師の訪問指導等により制度の周知と理解を深める必要がある。
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価		評価区分
コメント	受給者からの申請に基づき、適正な医療費の給付が行われている。受給者は今後も増加すると思われるため対象者に申請を勧めていく。	<A～E>
		B

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度 結果指標量①	440人
目標値 成果指標量	88%

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	新規に該当になった人に対し保健師が訪問説明を行い、制度の周知を図る。	随時	未申請者の減少を図ることにより、精神障害者の福祉増進に資する。